

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年 7月 11日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470202585		
法人名	有限会社 再輝堂		
事業所名	グループホーム福寿草		
所在地	広島市安佐南区相田2丁目15-19 (電話) 082-832-7110		
自己評価作成日	令和4年6月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470202585-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年6月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホーム福寿草は、基本理念（和顔愛語）のもと、「皆がいつも楽しく過ごせるように、和やかな笑顔での介護、愛しい言葉での介護を心掛けています。」季節を感じられるケア、花や野菜を手にとっていただいたり、窓辺に花を植えたり、季節の行事等、五感を大切にするケアを実践しています。食事は最後まで、お口から食事して頂ける様に、その人に合った形態での食事を3食手作り提供し、「ここに来て本当に良かった!」と思って頂ける様に、スタッフ一同取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホーム福寿草は、グループホームを長く運営する中で、自然に利用者は職員をおばちゃん、お姉ちゃんと呼ぶようになり親戚や第二の家族のような関係が築かれている事が特徴的である。常に職員は、利用者がいつも楽しく過ごせるような行事やレクリエーションを考え提供し、利用者へかける声の口調や表情、介助する際の体の支え方など、細部まで丁寧に接するように努めている。、利用開始後の一部利用者に、粘り強く時間をかけた食事介助から身体機能の向上や、いつも怒っていた方が穏やかになる等、良い影響をもたらしている。また、利用者の心身状態に合わせ必要な機器を導入したり、家具の配置を変更する等の安全確保にも取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>朝の申し送り時は、「和顔愛語」を確認して、今日も一日笑顔で接する様に、ミニミーティングを行っている。</p>	<p>毎朝行っているミニミーティングでは、笑顔で接することを一日の目標にし、再確認して取り組んでいる。職員は、言葉遣いだけでなく、目じりを下げて穏やかな表情で利用者と接し、介助の際は、利用者の体を両手で丁寧に支える等、細部にも気を配った介護を実践している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>利用者全員、町内会に加入して、町内清掃活動にも参加している。「福寿草だより」を町内会で回覧して、ホームの状況を理解して頂いている。近所の方に、お花や野菜を頂いたり、敬老の日には、町内会からも祝福されている。</p>	<p>町内清掃は、毎年1度行われており、利用者と職員が参加している。隣接する畑で作業する地域住民と日常的に挨拶や会話を交わし、畑でできた収穫物を頂くことがある。今年度は、地域の神社で開催される茅の輪くぐりに、利用者全員が参加できるよう企画検討中である。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>地域の方の相談や質問などにも随時対応している。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>コロナ禍の下、会議の開催は出来なかったけど、通報訓練、避難訓練の時は、消防署職員、町内会長、包括支援センターの職員の方に立ち会って頂き、反省会で御意見、感想、助言など頂いている。ホーム内で、利用者スタッフで、おやつを作り、お茶会を開いたりしている。</p>	<p>この一年は、新型コロナウイルス感染予防の為、利用者と職員で開催することが主となった。事前に文書で家族や関係者に照会し意見の聴取を行っている。終末期ケアについて運営推進会議の中で、医師、家族、管理者で話し合った内容を全職員と共有し検討することができている。</p>	
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市、区の介護保険課や地域包括支援センターに相談させて頂いたり、指導頂いたりしている。生活保護の方の受入れも行っている為、生活課の方とは色々相談している。</p>	<p>運営推進会議の報告書は郵送または、管理者が直接窓口提出している。現在、生活保護の利用者が3名利用中であり、年に1度市の担当者の訪問がある他、月に1度、管理者が生活課の担当者日時調整し、窓口で直接状況報告を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束をしないケア」をスタッフ一同で共有し、実践に努めている。しっかり声掛け、見守りを行い、玄関の施錠は、夜間のみしている。	身体拘束をしない為に、玄関ホールや階段、状態に応じて必要な利用者の居室ドア部分にセンサー、モニターなどを活用し、職員が駆けつけ対応している。外に出ようとする利用者には、行動を制限することなく、職員と一緒に庭に出て利用者の思いに寄り添い支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	基本理念（和顔愛語）のもと、スタッフ全員で虐待防止に努めている。ミーティングで話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	様々な事情により、ご家族と疎遠な方に対して、成年後見人や成年後見補助を司法書士の先生等に依頼して、支援してもらっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、契約書運営規程など説明して、納得して入所して頂く様になっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎月一度、ご家族宛に利用者の状況など報告して、御意見、要望などを聞く様になっている。玄関入口に意見箱を設置して、いつでも受入れられる様にしている。	意見箱を設置しているが、利用者、家族からの意見はない。2ヶ月に1度発行する事業所の便りや、利用者の様子を手紙で報告する際に書面で意見を聴取するように工夫している。実際に利用者、家族の意見から、月に2回お茶会が開かれ、季節の和菓子や食べたい軽食を手作りしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>いつでも職員の意見、要望は取り入れられる様、配慮している。年2回行っていた懇親会は、コロナ禍の下、出来なかったけど、スタッフ同志、何でも話せる関係作りに努めている。</p>	<p>管理者は、職員と少人数で食事会や、懇親会を開催し、日ごろから円満な関係づくりに努めており、職員の意見は、不満も含め随時上がってくる。採用時に働き方の希望を聞き、勤務調整を行い、職員の意見から業務負担が偏らないように役割分担の調整を行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の意見を聞いて、可能な限り改善に努めている。家庭の事情等を聞き、可能な限り、シフトの配慮を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>管理者や職員には、働きながら経験を積み重ねる様に勧めている。研修等は受けられる様に、シフトの配慮は行っている。看護学校や准看護学校の学生も、シフトを配慮して、働きながら学べる様にしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>グループホーム協会に加入して、情報交換や相談など行っている。地域包括支援センターとも交流し、助言頂いている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人の希望などを聞いて、職員間で共有し、信頼関係を築き上げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の希望などを聞いて、職員間で共有する為、ケアプランに取り入れて、信頼できる環境作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人や家族の希望など、しっかり聞いて、的確に把握し、対応する様に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は暮らしの中で、利用者から智恵や料理を教えて頂いたりしている。洗濯物を一緒にたたんだり、お部屋の掃除を一緒に行ったり、出来る事は一緒に行う様、心掛けている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人の日々の様子をラインやメール、写真で送ったり、電話で話したりと、職員が間に入って関係を支えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ラインを通じて、日常の写真を送ったり、手紙や年賀状など、職員が手伝いなじみの関係が保てる様に支援している。</p>	<p>他国に住む家族との関係が途切れないように、携帯電話のアプリを用いてビデオ通話ができるように支援している。家族と外食や外出をしたり、定期的に自宅で夕食を食べに帰る方もおり、事業所は、コロナ禍でも関係継続ができる様に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同志の関係性を把握して、席の配慮など、お互いに関わりが持てる様に、職員が間に入り支援している。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	手紙や電話、メールなどで連絡を取り合う様にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日頃から、本人の好みや得意な事などを話題にして、本人が何をしたいのかを把握する様にしている。本人から聞き出せた情報は、全職員で共有している。	利用開始時の情報が少ない利用者が多く、利用開始後に会話の中から得意なことや過去の仕事や趣味の貴重な情報を得ている。意向の表出が困難な場合は、表情を観察して快か不快かを判断し、不快な原因をバイタルサインなどからも調べ、反応を見ながら対応方法を検討している。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	一人ひとりの経験や暮らしを把握して、役割や出番など場面作りをしている。例えば、お米とぎ、針仕事（つくろい物）やボタン付等、お願いしている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	一人ひとりの体調や、ペースに合わせて、日々を笑顔で穏やかに過ごして頂ける様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は、本人、家族の意見を取り入れ作成している。職員間で計画の内容については、担当者会議を行い、見直している。</p>	<p>介護計画は、6ヶ月毎または、状態が大きく変化した際に見直しと修正を行っている。計画作成時は、事前に電話や手紙で家族の意見を聴取するように取り組んでおり、職員全員で話し合い意見を出し合っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>利用者の状態が把握出来る様に、具体的な記録をしている。情報は、職員で共有しながら実践している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その場の状態、状況に応じて臨機応変に行動、対応する様に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内の方、消防署、コンビニなどに協力して頂く様に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>必要に応じて、協力医の往診、診察を受けている。希望されるかかりつけ医などの受診は、職員の同行、支援している。</p>	<p>協力医療機関の医師が毎日訪問し、必要時は看護師が同行している。利用開始時にかかりつけ医について説明し、全ての入居者が協力医療機関の医師に変更を希望している。専門医の受診が必要と判断された場合は、職員が付き添い、情報提供や必要な支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は、利用者の身体状態の変化や気づきを、随時管理者を通じて医師に伝え、適切な医療が受けられる様に支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院された際は、ホームから入院先に面会訪問したり、病院とのカンファレンスに参加したりして、状態の把握や退院後の方向性について、家族や病院関係者と話し合っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に本人や家族に終末期の対応について、聴き取りしている。看取りを希望される場合は、医師と連携して、本人、家族の希望に添える様にしている。	利用開始時と状態に大きな変化があった際に、利用者、家族へ終末期の過ごし方について説明し、書面で同意を得ている。また、思いや意向はいつでも変えられる事も併せて伝えている。利用者と家族、職員の最期までしてあげたい事の思いに寄り添い、支援を行った実例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応や応急手当など、マニュアルを作成して、勉強会を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、夜間を想定しての訓練を行っている。避難訓練には、町内会長、消防士など参加してもらい、指導を仰いでいる。マニュアルを作成し、実践している。	緊急時の電話連絡網は、毎年最新の情報で更新し、町内会長や民生委員、地域の協力者へ配布している。有事の際は、地域住民に駐車場へ駆けつけてもらう協力体制を築いている。食品の備蓄は約3日分あり、非常持ち出し袋は1階の出し入れしやすい場所に保管している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員会議で徹底している。日々の会話では、基本理念に基づき、優しい言葉かけに努めている。	利用開始時に、利用者、家族へ名前の呼び方を確認している。事業所の広報誌等、家族に同意を得て写真を掲載している。排泄介助時は、扉や居室のカーテンを閉める事を徹底するよう努めており、毎日実施するミニミーティングで、愛しい言葉で接するように意識統一を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	あらゆる場面で、本人の希望に添える様に、「どうしようかね?」「どうしたらいいの?」の声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切に、生活して頂ける様に支援している。出来るだけ、本人の希望を聞いて、希望に添える様に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好みの衣服や、格好が出来る様に、自分で服を選んで着ている。訪問理容美容を受ける際は、本人の希望（丸刈り、スポーツ刈り、おかつぱ等）を取り入れている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事のメニューは、利用者と相談して決めたり、野菜の皮むきなど、手伝ってもらったりしている。誕生日には、好みの献立を用意したり、手作りのケーキでお祝いしている。	コロナ禍でも、野菜の皮むきは利用者が行っている。献立は、自宅と同じように、その日の食べたいものを聞いて冷蔵庫内の材料で職員が手作りしており、希望が取り入れやすい環境となっている。行事食やおやつ作り、誕生日に希望の食事ができる等の工夫を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの希望や状態に応じて、その人に合った食事の提供をしている。例えば、朝食はご飯、粥、トースト等、栄養のバランスを配慮している。水分や食事の摂取量は記録し、把握、管理している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>定期的に歯科医、衛生士の訪問を受け、検診、口腔ケア等して頂き、スタッフにも助言、指導して頂いている。食後、うがいや歯磨きなど、個々に応じて行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を残し、個々の排泄パターンを把握して、トイレ誘導、排泄介助など支援している。</p>	<p>終日オムツを着用している利用者も、日中はトイレに座って排泄ができるようにして、オムツの使用量を減らす取り組みを実施している。夜間はポータブルトイレを使用して自立排泄を支援している。ポータブルトイレは、利用者と相談して配置を決定している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>植物繊維を多く含む食品を食材を取り入れたり、水分補給や体操するなど、便秘予防の取組をしている。排泄の記録は把握している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>二人体制で、入浴時は、一人ひとりの時間をとり、入浴して頂いている。声掛けしながら背中を流したり、シャワーをかけたたり支援している。入浴の順番も、ジャンケンで決めている。</p>	<p>浴室床の段差を、すのこなどで解消し脱衣室から出入りがしやすくなるように工夫している。お風呂好きな利用者が多く、一番風呂が人気となっており、公平にジャンケンで入浴順を決めている。一人ずつ入り、利用者と職員が、ゆっくり話せる空間となるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一人ひとりのペースに合わせて休 憩したり、活動したりされる様 に支援している。リビングや廊下 にソファを置いて、自由にくつろ げる様にしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>医師の指導の下、確実な服薬支 援の為、再度、服薬前に氏名を 確認の上、個々に手渡しで服薬 してもらっている。症状の変化 にも注意している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>利用者それぞれの得意とするも の、出来る事など把握して、役 割や楽しみを持って生活出来る 様に支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>コロナ禍で外出は出来ないけど 、希望に添える様に、庭に出て 花を見たり、日光浴をしたりし ている。今年は、3年ぶりに全 員で、お花見に出掛けた。</p>	<p>日常的に事業所の敷地内駐車 場に出てお茶を飲んだり、庭で 外気浴を行っている。今年の春 は、介護タクシーを活用して、 車いすが必要な利用者も含め て全員がお花見に行く事ができ た。定期的に自宅に帰る利用者 は、家族と協力連携し支援して いる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>利用者や家族の希望に応じて支 援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族や友人に手紙、ハガキ、電話など、希望に応じて支援している。コロナ禍の下、面会自粛された家族に、ラインやメールで写真を送ったりしている。台湾にいらっしゃる娘さんやお孫さんと、ラインでビデオ通話したりもしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご自宅の様な雰囲気、落ち着いた過ごせる様に支援している。玄関や廊下には、季節を感じられる様な飾り付けをしたり、作品の掲示をしている。</p>	<p>利用者は日中共用の居間で過ごしている。換気は日に複数回実施し、消毒や掃除機掛けは毎日行い、清潔を保つよう努めている。季節ごとに利用者、職員と一緒に作成した作品を廊下や玄関に飾っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>好きな場所で、自由に過ごせる様に、ソファを置いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使用されていた馴染みの物を持って来て頂いたりして、安心して居心地良く過ごせる様に配慮し、部屋作りは、本人や家族にしてもらっている。ソファやテレビも設置されている。</p>	<p>自宅と同じような環境で生活できるように、利用者の馴染みがある物を持参してもらうようにパンフレットに明示し案内している。歩行が不安定な利用者は、支えなく歩く距離を短くする為にベッドを部屋の中心に配置して、転倒リスクを軽減できるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの身体状態に応じて、安全に過ごして頂ける様に、手摺を設置したり、階段では昇降機を設置して、利用を支援している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム福寿草

作成日 令和4年7月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	43	紙パンツやオムツ使用されている方の清潔を保持し、ただれをなくす。	清潔保持に努め、陰部、臀部のただれ等をなくす。	排泄介助の時、お尻拭き使用するだけでなく、陰部、臀部の洗浄、清拭を行い、ワセリン等、薬の塗布を行う。	3ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。